

店舗用 陶芸食器のご提案

株式会社アーサンウェアズ
美術の森事業部 福原裕



信楽焼とは
信楽は、付近の丘陵から良質の陶土がでる土地柄である¹⁾。長い歴史と文化に支えられ、伝統的な技術によって今日に伝えられて、日本六古窯のひとつに数えられている。信楽特有の土味を発揮して、登窯、窖窯の焼成によって得られる温かみのある火色（緋色）の発色と自然釉によるビードロ釉と焦げの味わいに特色づけられ、土と炎が織りなす芸術として“わび・さび”の趣を今に伝えている。

食器（陶器）のご提案 3 - 1

陶芸家 古谷和也 作

メインに使用いただく
板皿になります



板皿
サイズ：28×17×2cm

作者の代表的な皿で料理屋
さんに向けた陶片皿です



陶片皿
サイズ：20×14×4cm

三つ足の信楽らしい火色
で少し土味とヘラ目が表
現されています



足付き向付
サイズ：20×16×6cm

食器（陶器）のご提案 3 - 2

陶芸家 古谷和也 作

高台が五角形で、少し高くなっていることで特別感があります。



高台皿
サイズ：15×15×6cm

ビードロと火色の対比が良く、料理をはじめお茶席の銘々皿にも使われます。



六角皿
サイズ：15×15×2cm

少し三角にたわんでおり、深みもあり万能に使える向付です。



向付（やや三角）
サイズ：16×16×6cm

小ぶりの皿で鮭を一貫お出しするときなどに便利で、使いやすいと評判です。



銘々皿
サイズ：13×8.5×2cm

食器（陶器）のご提案 3 - 3

陶芸家 古谷和也 作

窯変が綺麗に出て金継ぎがあります。
金継ぎも見どころになります。メイン
の素材をお客様に披露する際に向いて
いる見栄えのする大皿です。



信楽大皿
サイズ：47×237×5.5cm

こちらも同様に素材を披露する際に
深みがあり、幅広い素材に使用して
いただけます。信楽の特徴である火
色の抜けが走った景色になります。



信楽輪花鉢
サイズ：35×35×9.5cm

花瓶（陶器）のご提案 その他

陶芸家 古谷和也 作

焼いている時に引き出し、急冷することでビードロがエメラルドグリーンのように変化します。空間に花があることで個室の雰囲気が一変します。

モダンな形で場所や花を選びません。花がなくてもオブジェとして飾っていただけます。何処に置くと効果的か？は検討が必要です。



伊賀掛花入
サイズ：径6×高さ31cm



信楽面取花入
サイズ：径9×高さ29cm

